



ゆり中だより

三田市立ゆりのき台中学校

令和8年5月1日 第2号

＝学校教育目標＝

「命」と「心」を大切に、
「一緒に」考え歩む学校

祝 入学・進級 熱き夢をもって!



▲第35回入学式(右) 生徒会役員によって彩られた1年生教室(左)

4月10日(金)第35回入学式が行われました。262名(※8クラス)の新入生の入場、呼名での「中学校生活への決意表明」の思いが込められた返事等、大変感心しました。ここでは、学校長の式辞の一部を紹介します。※文部科学省は、公立中学校の1学級当たりの上限人数を40人から35人に引き下げる改正義務教育標準法を成立させ、今年度1学年から適用されています。2、3年は40人学級。

皆さんの入学にあたって、贈りたいテーマは

【自分自身の人生を熱く生きる】

ということです。今日は、長年、日本のロック界の第一線で走り続けているミュージシャン、矢沢永吉さんの言葉を借りて、夢を持つことの素晴らしさを伝えたいと思います。矢沢さんは、かつてこんな言葉を残しています。

「ドアの向こうに夢があるなら、ドアが開くまで叩き続けるんだ。」

中学校生活では、新しい勉強やクラスや学年の活動など、多くの「未知のドア」が皆さんの前に現れます。最初から簡単に開くドアばかりではありません。しかし、そこであきらめずに叩き続けること、つまり「やり抜く」という意思こそが、夢を現実にする唯一の方法なのです。

もう一つ、矢沢さんの言葉を紹介すると、「一回きりの人生、派手に照れずに生きてみるよ。」中学生になると、周りの目が気になったり、夢を語ることを「恥ずかしい」と感じたりする時期があるかもしれません。しかし、自分の好きなこと、目指したいものに正直になることを恐れないでください。照れずに、まっすぐに自分の夢と向き合う姿は、何よりも格好よく、美しいものです。夢をもつということは、単に目標を立てるということではありません。それは「自分はこう生きたい」という自分への約束です。たとえ途中で雨が降り、風が吹く日があっても、夢という灯を持っていれば、皆さんは

迷わず進んでいくことができます。

このゆりのき台中学校での三年間、どうか自分だけの「熱い夢」を見つけてください。先生たちは、皆さんが叩き続けるそのドアがいつか開くよう、励まし、何をすればよいのか相談にものります。一緒に考え行動していきましょう。

さて、始業式・入学式から約1か月が経とうとしています。朝の登校、授業中、給食準備の様子を見ながら、皆さんひとり一人が、新しい環境で「頑張ろう」という姿勢が伝わってきます。挨拶にしても大変気持ちの良い「言葉」をかけてくれます。職員室での先生方の会話にも、皆さんが新しい環境で前向きに頑張ろうとしている話をたくさん聞きます。先生たちもそんな皆さんをしっかり支え、応援していきますね。ここでは、3学年それぞれの「学年目標」と目標に込めた思いを学年主任の先生から紹介してもらいます。

○1年学年目標 彩(いろどり)

-素直な言葉、確かな一歩-

第1学年の学年目標は「彩(いろどり)-素直な言葉、確かな一歩-」です。第1学年のスタッフが生徒と共に目指す学年の姿をこの言葉に込めました。

□なぜ「彩」なのか

「彩」は多様性を象徴しています。私たち一人ひとりには「個性」という色があります。考え方、得意なこと苦手なこと。誰一人として同じ色の人はいません。その多様な個性(色)が大切にされ、認め合い、補い合うことで、学年全体が豊かな彩りになってほしいという願いを込めています。

□「素直な言葉」が、色をつなぐ

それぞれの個性がバラバラな状態では、豊かな彩りにはなりません。そこで大切にしたいのが、次の3つの言葉です。

- 「ありがとう」(相手を認め、感謝する心)
- 「ごめんなさい」(自分の間違いを認め、向き合う誠実さ)
- 「助けてください/手伝ってください」(弱さを受け入れ、仲間に頼る勇氣)

自分の心に素直になって、これらの言葉を口にできること。それが、異なる色をもつ仲間同士をつなぐ架け橋になります。

□「確かな一歩」を、共に踏み出す

安心できる居場所があるからこそ、私たちは新しい学びや困難に前向きに挑戦できます。ひとりでは踏み出しにくい一歩も、仲間の支えがあれば確かなものになります。主体的に学び、自分自身の成長も、仲間の成長も大切にできる学年を目指し、共に踏み出しましょう。

≪5月の行事予定≫

日	曜	行事等	講師等	給食
1	金	オープンスクール	SC・子サ	1・2・3
2	土			
3	日	憲法記念日		
4	月	みどりの日		
5	火	こどもの日		
6	水	振替休日		
7	木	専門委員会 内科健診(3年) ノー部活デー 定時退勤(17:30)	子サ	1・2・3
8	金	全校集会 避難訓練 英語「話すこと」調査(3年) トライやる推進委員会 PTA執行委員会	SC・子サ	1・2・3
9	土			
10	日			
11	月	3年実力考査 ノー部活デー	子サ	1・2・3
12	火	耳鼻咽喉科健診(1年)	子サ	1・2・3
13	水	生徒総会	SSW・子サ	1・2・3
14	木	内科健診(1・2年) 命を考える日 ノー部活デー	子サ	1・2・3
15	金	安全点検の日 SCプログラム(1年)	SC・子サ	1・2・3
16	土			
17	日			
18	月	ノー部活デー	子サ	1・2・3
19	火	修学旅行事前指導	子サ	1・2・3
20	水	3年修学旅行(九州) 尿検査2次④	SSW・子サ	1・2
21	木	内科健診(1年) ノー部活デー	子サ	1・2
22	金	↓	子サ	1・2
23	土			
24	日	ウッディタウンフェスティバル(WTC)		
25	月	ノー部活デー	子サ	1・2・3
26	火		子サ	1・2・3
27	水	1年転地事前指導 1年定時退勤(17:30)	SSW・子サ	1・2・3
28	木	1年転地学習(鉢伏高原) ノー部活デー 2・3年定時退勤(17:30)	子サ	2・3
29	金	↓ SCプログラム(2年)	SC・子サ	2・3
30	土			
31	日			

子サ：子どものサポーター SC：スクールカウンセラー
SSW：スクールソーシャルワーカー [最終下校] 17:30

≪6月の主な予定≫

2：専門委員会 3：全校集会 4：内科健診(2年) 5：情報モラル講演会 2次尿検査⑤ 10：歯科健診 12：創立記念日
15～7/3：教育実習 16～18：1学期定期考査 20・21：三田市総体(陸上) 23：ゲートキーパー講座 25：眼科健診
27・28：三田市総体

〇2 年学年目標 **認め合う 我ら**

お互いの存在を大切にする我ら をめざして

昨年の目標は『挑む 我ら』。そして一年を通して“挑み”めざした「Be ゆり中生」。今年はこの一年の成長を土台に、「Be ゆり中2年生」を意識した行動に挑みたいと考えています。そのために、一人ひとりが今の自分を超越していく努力をする、そしてともに過ごす友達の努力(がんばり)と成長にも気づき、応援しあえる仲間でありたい。「みんなが成長する、みんなで成長する」ことを大切にできる我らでありたい。そこで今年の学年目標を『認め合う 我ら』としました。私たち教員も含め、日々一緒に活動を積み重ね、互いの存在を感じ、ともに支えあって成長していきたいと思えます。

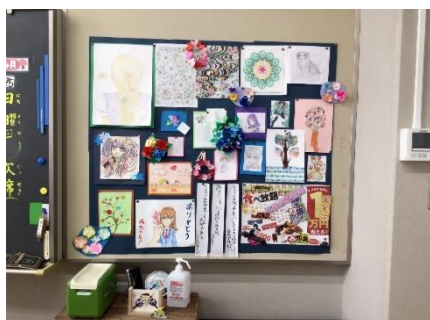
〇3 年学年目標 **心**

～立ち向かう心、楽しめる心、自立する心～

3年生になったみなさんの「心」には、新たな気持ちでがんばろうという思いがあるのではないのでしょうか。そこで、3年生では、強い気持ちで進路に**立ち向かう心**、クラスや学年で協力し合い、いろいろな行事等で**楽しめる心**、自分の将来についてしっかり考える**自立する心**を目標としました。いろいろな心を大切に、生徒のみなさんと先生たちとで最高の1年にしていきたいです。

「暖² (だんだん) ルーム」って知ってますか

2、3年生は知っていますが、1年生の皆さんは初めて聞く教室の名前ですね。「相談室」として利用されてきた校内サポートルームが、実は昨年、「暖²ルーム」という名前にリニューアルしました。この名前には、サポートルームですごす生徒たちに、「暖かい雰囲気」の中で「だんだん」と自分のペースで成長していった欲しいという思いが込められています。この名前のおおりの、生徒の皆さんがほっとひと息つける学校の中の安心スペースになればいいなと思います。「暖²ルーム」は、「ちょっと疲れたな」「静かな場所で過ごしたいな」という時に、気軽に立ち寄れる場所です。今年度は子どものサポーターが毎日9時から15時半まで待機しているので、お話ししたり相談したりすることもできます。また、自分のペースで勉強することもでき、授業をZOOMで受けることもできます。教室とはちがう、自分に合った過ごし方ができる場所です。希望する時は、担任の先生に声をかけてくださいね。 ▼暖²ルーム内の様子



地域に支えられているゆりのき台中学校



4月14日(火)、今年度1回目のウッドィ・カルチャータウン青少年健全育成連絡協議会(通称、「青少協」)が行われました。この組織は、子どもたちの健全育成を目的に、ゆりのき台中学校区とけやき台中学校区の小・中・高等学校の教職員とPTA、補導員さんや自治会、イオン三田ウッドィタウン店を始めとする事業所等で構成されています。これらの団体が月に1回程度集まり、巡回補導活動の報告をしたり、子どもたちの安心・安全について情報交換をしたりしています。このような多団体が参画した団体は、三田市内でも珍しいもので、地域の誇りです。

この他にも、登下校時に立ち番をして安全を確保してくれている方、学校にボランティアとして関わってくれている方など、様々な人がゆり中を支えてくれています。皆さんの安全安心な生活は、地域の大人の支え・想いで成り立っているのです。そのことを真に理解できていたり、想いを感じてくれていたりすれば、地域の中でくらす自分がどのように行動すべきか、わかるはず。「すべき」ではなく、自然と行動に表れるはず。

地域の一員として、素晴らしいゆり中をつくっていく一人として地域をつくる一人の人間として、自分自身ができることを考えていきましょう。

＜一昨年度生徒指導通信より＞

私が、けやき台中学校の生徒指導担当として「青少協」事務局の運営をしていた時、副会長の方が言われた言葉が忘れられません。「子どもは地域の宝。落ち着いた学校にするためには、落ち着いた地域にすること。そのため補導活動、誇りを持って活動しています。」ゆりのき台中学校もそうした地域の方のスピリッツに支えられていることを、皆さんも知っておいてほしいです。

5月のゆり中

生徒総会 13日(水)

生徒総会は、生徒の皆さんが「自分たちの手で、よりよいゆり中を創る」ための最も重要な会です。一人ひとりがゆり中の一員であるという自覚を持ち、会に臨んでください。ここでは生徒会役員の生徒総会に向けたメッセージを紹介します。

「私たちは、今回の生徒総会に向けて、スローガンや、活動計画を考えました。私は今年一年を今までとは違う新しい一年にしたいと考えています！皆さんからの質問や意見には丁寧に回答します！！今回の生徒総会は、前に立つ私たちからいい雰囲気を作り、一年の計画について、考えを深める会にしたいです！」

3年 修学旅行 20日(水)～22日(金)

スローガン「一瞬を一生に。 ～一分一秒をも大切に～」

先日、実行委員2名が校長室に来てくれました。「修学旅行の3日間は、一生心に残るもの。一人ひとりの一生の財産になるようなものにしたい」「一分一秒でも時間を大切に、メリハリをつけ一生の思い出にしたい」と、上のスローガンに込められた思いを熱く語ってくれました。「原爆投下の＜一瞬＞の出来事で、町や人がどうなったか深く学び、そして平和への思いを＜一生＞持ち続けたい」「3年生みんなが楽しめるようルールを考えました。みんなで決めたルールを守り、思い出に残る修学旅行にしたい」など、278人が力を合わせて取り組む平和学習やクラス、班別行動を通して、学習そして絆を深めていこうとしています。旅行先の長崎は、古くから外国との交流があり、長崎独特の文化が形成されています。班の仲間と長崎の街を散策しながら、異国情緒あふれる長崎の空気に触れ、文化を直接感じ取り、視野を広げてほしいと思います。また、長崎には、原子爆弾の投下による悲惨な傷跡も残っています。いま世界中の人々が、これまで以上に「戦争」「原爆」「平和」について考えています。学校で学んだことを基礎として、原爆資料館の展示にもしっかり目を向け、心を寄せ、平和の尊さを感じてください。現地で行う「ゆり中発の平和宣言」に期待しています。

修学旅行では、共に行動する仲間(友)がいます。修学旅行が良い思い出としていつまでも心に残るのは、互いに信頼し支え合い、高め合える仲間(友)とともに行動するからです。相手を思いやる気持ちや行動を通して、お互いの「絆」を深め合い、友とともに助け合い成長する修学旅行になることを願っています。

1年 転地学習 28日(木) 29日(金)

スローガン「勇往邁進～彩高の仲間と共に～」

鉢伏高原にて1泊2日で転地学習を実施します。目的は、「共同生活の体験を通じて、仲間づくりを進める」「集団の中で適切な判断力と行動力を養う」「自然に親しむ」の3つです。262人の大所帯、1つの宿舎で皆が過ごします。入学後少しずつ緊張感も取れ、最初の学年行事の転地学習を、皆さん楽しみにしていると思います。各クラスから出ている実行委員を中心に上のスローガンが決まりました。その思いを聞くと、「学年全体で協力して転地学習に臨み、力強く成長していこうという思いが込められています。サブタイトルには学年目標である“彩”がキーワードとして入っています。一人ひとりの個性が尊重された、彩高の仲間と呼べる集団を目指します。」とのこと。一回り成長し帰校する皆さんの姿を楽しみにしています。保護者の皆様においては、入学して間もなく、様々なご不安もおありかと思えます。遠慮なく、担任や学年教職員にご相談ください。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。